

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0176700540		
法人名	有限会社 そうせい舎		
事業所名	グループホーム あったか宝来館		
所在地	稚内市宝来2丁目2番19号		
自己評価作成日	平成23年3月2日	評価結果市町村受理日	平成23年3月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

介護施設だからあれをしなければ、これをしなければではなく、どの家庭でもある平凡な普通の暮らしを送って頂けるよう努めています
 < 袖すり合うも多少の縁 > 一人ひとりの生活はもちろん大切にしていますが、共に暮らす仲間として外食や行楽へ職員と利用者さん全員で出かける機会を多く持つ様にしています

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0176700540&SCD=320
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジエント株式会社
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内
訪問調査日	平成23年3月19日

<地域との連携と協力>
 過去に稚内市内の大火があり、火災に対して地域住民の意識は高く、事業所の火災避難訓練の際には、地域住民も参加する等協力体制を築いている。また、母体法人は、居宅介護事業所及びヘルパーステーションも運営しており、高齢者世帯の実情や地域のニーズを把握していると共にその時々生まれるニーズに対応して柔軟な支援に努めている。
<日々のその人らしい暮らしへの支援>
 職員と一緒に料理の準備や味付け、後片付けや漬物漬け等一人ひとりの力を活かした支援をしている。また、一人ひとりのその日の希望にそって、婦人部の草取りに参加したり、あったか農園で収穫を楽しむなど支援していると共に福祉祭りや白鳥見物、足湯や外食(ラーメン等)等普段行けない場所にも出かけられるように支援している。

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目)				項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します			
項目		取り組みの成果 該当するものに 印		項目		取り組みの成果 該当するものに 印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の		63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と	
		2. 利用者の2/3くらい				2. 家族の2/3くらい	
		3. 利用者の1/3くらい				3. 家族の1/3くらい	
		4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない	
57	利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある		64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように	
		2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度	
		3. たまにある				3. たまに	
		4. ほとんどない				4. ほとんどない	
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が		65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている	
		2. 利用者の2/3くらい				2. 少しずつ増えている	
		3. 利用者の1/3くらい				3. あまり増えていない	
		4. ほとんどいない				4. 全くない	
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が		66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が	
		2. 利用者の2/3くらい				2. 職員の2/3くらい	
		3. 利用者の1/3くらい				3. 職員の1/3くらい	
		4. ほとんどいない				4. ほとんどいない	
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が		67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が	
		2. 利用者の2/3くらい				2. 利用者の2/3くらい	
		3. 利用者の1/3くらい				3. 利用者の1/3くらい	
		4. ほとんどいない				4. ほとんどいない	
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が		68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が	
		2. 利用者の2/3くらい				2. 家族等の2/3くらい	
		3. 利用者の1/3くらい				3. 家族等の1/3くらい	
		4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が					
		2. 利用者の2/3くらい					
		3. 利用者の1/3くらい					
		4. ほとんどいない					

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
理念に基づく運営						
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	全スタッフで作り上げた事業所独自の理念を揚げ実践している	職員で話し合い作った事業所独自の理念をもとに、共有し、その実践に取り組んでいる。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入している。祭りやバザーへの参加やホームの敬老会などに地域の方もお招きしている。散歩途中に、休んでいきなさいと声をかけてくださるお家もあり交流は日常的にある	婦人部の草取りに参加したり、お祭りやバザー参加や近隣幼稚園への訪問等地域の人達との交流に取り組んでいる。また、避難訓練に町内の人達も参加している。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議で地域高齢化介護の悩み等話し合われており、介護事業所として気軽に相談においで頂ける様、お話している			
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	火災避難協力体制については訓練に委員の方の参加もあり、地域住民のサポート体制ができています	運営推進会議では、火災避難訓練や地域との協力体制について具体的に話し合い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	今後は、運営推進会議の開催を年6回を目安に定期的に開催することを期待します。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	毎月、広報紙を配布し閲覧して頂いてる地域ケア会議に参加している	市担当者や包括支援センターとは、地域ケア会議や日常業務を通じて情報交換を行い、協力関係を深めるよう努めている。		
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠は夜間のみとしているミーティングで確認、話し合いを行っているが委員会は設けていない	身体拘束廃止をミーティングを通じて話し合い、管理者及び職員の共有が行われている。また、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	マニュアルはあるが職員個々が自覚的に取り組んでいるまでには至っていない			

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度を利用されている利用者さんはおらず、職員のすべてが基本的理解を得てはいない			
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	締結、改定等があった場合は直接御家族を訪問し十分な説明を行い理解されるように努めている			
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時、集金時には御家族の要望、意見をお聞きしている	家族や来訪者等が管理者、職員並びに外部者へ意見や苦情等を言い表せるように苦情等の市町村等の相談窓口の啓発ポスター等を掲示している。		
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングで行われている。管理者は日常的に職員の意見、要望を聞き代表者に伝えている	日々の業務やミーティングで職員の意見や要望、提案を聞くよう機会を設け、それらを運営に反映するよう取り組んでいる。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	希望休に対応した勤務調整を行っている			
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修を行い職員の介護の質の向上に努めている 外部研修は地理的な事もあるが地元開催には積極的に参加している			
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同一法人にグループホームが出来、職員の交流は活発である 他事業者との交流は少ない			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	傾聴し人柄を知る事で、ホームに早くなじんで頂ける様努めている		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居に至った経過などをお話して頂いて。来訪時だけではなく御自宅へ向かわせて頂きお話を聞く事もある		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	御家族とのお話の中でホームとして対応できる事についてはすぐ対処していく様に努めている		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に調理や片付けをしている。魚のさばき方や味付け、編み物など教えられる事も多くある		
19		本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	食事を摂れなくなった方の御家族に夕食同伴の誘いかけをしたりと家族と共に本人ケアに取り組んでいる		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	店やお寺などの外出支援出来ている。馴染みの方の訪問時には記念写真を撮り、その場でお渡ししている。また、送迎の希望があれば行っている	馴染みのお店やお寺へ出かけたり、婦人部の草取りに参加や福祉祭り、足湯や外食(ラーメン等)等馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	相性によって席替えを行ったり、白鳥見学や外食など全員参加の外出機会を多くとり、共に暮らす仲間としての意識を高めるよう努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院してお亡くなりになるケースが全てで途中退所の例はないが、御家族へは年賀状やイベントのお誘いを継続している		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	モニタリングや日々の会話の中で本人の希望意向の把握に努めている	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努め、モニタリングやミーティングで職員間の情報の共有が行われている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に御家族やそれまでのサービス事業者からの情報収集に努めている		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人記録や水分、食事、排泄表などを使い職員全員が個々の現状を把握出来ている		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画は半年で見直ししているが状態変化があった場合は計画の変更、立て直しを行っている	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、家族の意見や職員の意見を介護計画に反映している。また、介護計画と介護記録のつながり(連動性)について課題として取り組んでいる。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録表は職員間で話し合い改善されているが、計画との連動性をなお高めるため、現在も検討中		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	夜間でも要望があれば送迎を行っている		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	婦人部の草取りに参加し馴染みの人に出会ったり、歌謡ショーなどにも出かけている		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時からのかかりつけ医へは継続してかかる様にしている。容態変化ある場合、必要な科を紹介して頂いている	本人や家族の希望するかかりつけ医となっている。また、法人看護師の助言や通院等で適切な医療を受けられるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	併設されているデイサービスの看護師に適時に助言を受けている			
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、毎日スタッフが顔を出し安心してホームに戻ってこれるように努めている			
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ホームとして出来ない事は家族に説明している。出来る事については最大限の支援を行っている	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ができることを十分に説明しながら方針を職員間で共有している。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急救命講習を行っている			
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に二回、日勤と夜勤に分かれて避難訓練を行っている。町内の方にも参加して頂いている	スプリンクラーの設置が完了している。また、火災避難訓練の際には、地域住民も参加する等協力体制を築いている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇研修を行い言葉かけには気をつけている。居室へ入る時はノックや声かけを必ずする様にしている	接遇マナーの研修会を通じて、誇りやプライバシーを損ねるような言葉がないように周知している。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の暮らしの中でいつもしている事についても必ず声かけし本人の決定にまかせている			
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的なタイムテーブルはあるが体調や希望により流動的なもので本人本位の生活を送れる様 支援している			
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	化粧品などは長年愛用のものを使われている イベント参加時の衣類は本人の相談のもと職員と共に選んでいる			

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	節句や季節に合わせた料理を共に作り毎日の食事も配膳や盛り付け片付けを共にしている	食事が楽しみなものになるよう、職員と一緒に料理の準備や味付け、後片付けや漬物漬け等一人ひとりの力を活かした支援をしている。		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量、献立が一覧となった表があり個々の状態の把握に努めている			
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	朝、夕は出来ているが昼食後については個々の中で習慣化されていない面もあり声かけをしている			
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人一人の排泄パターンを把握し、その都度声かけをトイレまで誘導しているオムツ、パットの使用は最小限になるよう努めている	排泄チェック表で一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレで排泄できるように支援している。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々に対応した運動や飲食物を提供している便秘の及ぼす影響については全職員が理解している			
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	夜間入浴は出来ていないが、望む時は本人の体調次第で入浴出来ている	一人ひとりの希望やタイミング、生活習慣に応じて入浴支援している。また、利用者の希望に柔軟に対応している。		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	起床、就寝時間は定めておらず本人本位としている 安普請なので夜間の話し声、洗い物には気を使っている			
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の薬のファイルがある 受診等で薬が変更あった場合は受診報告書に記載し全スタッフに周知を図っている			
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の能力に合わせて家事や調理、ファンレター書き、壁飾り作成と日々の暮らしに変化あるよう支援している			

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>散歩、外出の希望があれば応じている</p> <p>観光施設が出来た時は皆で訪れる様にしている</p>	<p>一人ひとりのその日の希望にそって、婦人部の草取りに参加したり、あったか農園で収穫を楽しむなど支援していると共に福祉祭りや白鳥見物、足湯や外食(ラーメン等)等普段行けない場所にも出かけられるように支援している。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>委任状をいただき金銭はホームで管理している</p> <p>御自分で財布を所持している方もおられる</p>			
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>お礼状書きや誕生日の家族への電話はかけているが日常的に手紙のやりとりや電話をかける事は出来ない</p>			
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホールの壁には季節にちなんだ物を一緒に作り飾っている</p> <p>冬場は濡れタオルをかけるなどして湿度に気を使っている</p>	<p>旅館の改築型のグループホームだが、共用空間はゆったりして利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。また、温度・湿度管理や椅子やソファが配置され、利用者が居心地良く過ごせるよう工夫している。</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>物理的に狭く特別なスペースはないがソファに座ったり居室の訪問など利用者さん独自で場所を作り出している</p>			
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みの家具、写真を持ち込まれる方が多い。今後カーテンやカーペットを取り替える時は、防災仕様になさって下さる様に家族にお話している</p>	<p>居室には、本人や家族と相談しながら、馴染みの家具や寝具、家族の写真等を持ち込まれ、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>個々の能力や機能低下に伴い手すりを増設している</p>			

目標達成計画

事業所名 グループホームあったか宝来館

作成日: 平成23年3月22日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	27	個人記録表には日々の利用者さんの行動のみを記載する事が多く、介護計画の見直しなどに活かされておらず実践にも繋がっていない	介護計画に反映させられる様な個人記録表を作りサービスの向上に繋げていきたい	・日々の様子、行動を記入する欄とは別にケアの実践、結果を記入する欄を設ける ・個人記録表に各利用者さんの介護計画をはさみ常に目を通してながら計画と連動させて記入をしていく	3ヵ月
2	8	学習する場も少なく職員間の理解度に差がある	職員が制度を熟知し家族や他者に説明できるようになれる	ミーティング時に資料を用意し学習していく	6ヵ月
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。